

他にもあります

人材育成、研修型ワーケーション

※掲載しているプランは、あくまでもイメージであり、実施の際にはご要望に応じて、ご提案します。

美唄市

旧産炭地の歴史とホワイトデータセンター構想に学ぶ

泊数 1泊2日

概要

アクセス

東京から新千歳空港まで約90分
新千歳空港からJRで約70分

炭鉱街として栄えた美唄市の歴史や雪氷熱を活用した「ホワイトデータセンター」の視察を通じ、そこにしかない日常に触れることでイノベーション人材育成のきっかけを創出します。



BIBAI

Day1

- 午前 移動
- 午後 郷土史料館ガイドツアー
- 炭鉱メモリアル森林公園見学
- 安田侃彫刻美術館
アルテピアッツァ美唄見学

Day2

- 午前 ホワイトデータセンター見学
- 研究員の講話
- ワークショップ
- ディスカッション
- 午後 移動



炭鉱跡地などの視察

かつて石炭の街として栄えた美唄市の歴史について学びます。郷土史料館や現存する産業遺産見学を通じ、美唄の“今”に触れます。

ホワイトデータセンター

炭鉱閉山以降、人口減少や高齢化が進む美唄で誕生した、雪冷熱を活用した地域循環モデル構想について研究者本人から聴き、自社ビジネスへの応用等を考えます。

千歳市

千歳の自然環境を活かしSDGsについて考える

泊数 1泊2日

概要

アクセス

東京から新千歳空港まで約90分

国立公園支笏湖や農村エリア等、千歳市の自然環境を活かし、環境保全や社会貢献活動などSDGsにもつながる研修プログラムを提供します。



CHITOSE

Day1

- 午前 移動
- ブリーフィング
- 午後 カヤック・カヌーによる水中ゴミ拾い
- 水中ゴミマップの作成

Day2

- 午前 農作業体験 (季節に応じ変更)
- 生産者との意見交換
- 午後 テレワーク
- 移動



国立公園支笏湖

国内屈指の透明度を誇る支笏湖で、カヤックやカヌーに乗って水中のゴミ拾いをを行います。

農作業体験

日本の食を支える北海道で、地元の農家さんと一緒に農作業体験をすることができます！

鹿追町

「シカソン」で環境をテーマに持続可能な未来を考える

泊数 2泊3日

アクセス

東京から帯広空港まで約90分
帯広空港から車で60分

概要

「シカソン」とは、ゼロカーボンシティ宣言のまち、日本ジオパークのまち、国立公園のまち、SDGs推進のまち、過疎のまち「鹿追(シカオイ)町」で、環境をテーマに一緒にマラソンを走るかのように学び、考え、持続可能な未来(ゴール)を目指すショートステイプログラムです。



SHIKAOI

ウチダザリガニ駆除体験

大雪山国立公園内の然別湖には、特定外来生物の「ウチダザリガニ」が生息しています。駆除活動を通じ「持続可能」な国立公園を目指しています。

「然別湖」でのアクティビティ

然別湖では、カヌーやトレッキング、登山などを楽しむことができます。アクティビティを通じて環境について考えてみましょう。

Day1

- 午前 移動
- 午後 バイオマス施設視察
- ジオパーク視察
- ウチダザリガニ駆除準備

Day2

- 午前 ウチダザリガニ駆除体験
- 午後 乗馬体験
- 環境を学ぶワークショップ

Day3

- 午前 未来を考えるワークショップ
- 午後 移動



釧路市

阿寒湖の大自然でアイヌ文化体験に触れる

泊数 3泊4日

アクセス

東京から釧路空港まで約90分

概要

阿寒摩周国立公園内の大自然と地域特有のアイヌ文化に触れながら、自身のキャリアビジョンを見つめ直し、新しい価値観とアイデアを創出します。



KUSHIRO

アイヌ文化講話

アイヌ民族の文化、生活、歴史、大切にしている価値観などに触れることができます。

「光の森」散策

案内人と一緒にしか入ることができない森で、森林保全の取組みを学ぶことができます。

Day1

- 午前 移動
- 午後 ワークショップ

Day2

- 午前 アイヌ文化講話(ストーリーテリング)
- 午後 リフレクション

Day3

- 午前 「光の森」散策
- 午後 リフレクション

Day4

- 午前 地域の方との交流
- 午後 移動



連絡先

▶ お問い合わせ・お申込みは
北海道型ワーケーションワンストップ窓口
☎ 011-204-5089
✉ hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp

▶ 詳しい情報は
北海道型ワーケーションポータルサイト
hokkaido-work-vacation.com



他にもあります

チームビルディング型ワーケーション

※掲載しているプランは、あくまでもイメージであり、実施の際にはご要望に応じて、ご提案します。

苫小牧市

苫小牧らしいスポーツでコミュニケーション向上！

泊数 2泊3日

アクセス

東京から新千歳空港まで約95分
新千歳空港から車で約30分

概要

登山で人気の樽前山やゴルフ、アイスホッケーから波及したブルームボールなど苫小牧の環境を活かしたスポーツや、地域の方との交流を通し、チームのコミュニケーション向上を図ることができます。



TOMAKOMAI

Day1

- 午前 移動
- 午後 テレワーク
- 夕方 アルデンでのBBQ

Day2

- 午前 市内工場見学
- 午後 樽前山登山、ゴルフまたはブルームボール体験

Day3

- 午前 事業者との意見交換
- 午後 移動



オートリゾート苫小牧アルデン

キャンプサイト・コテージ・温泉・パークゴルフなど充実した施設を備えたオートキャンプ場です。電源付きサイトやコテージ・温泉・バーベキューコーナーでは、Wi-Fiが完備されています。

樽前山

樽前山は北海道の天然記念物に指定されている溶岩ドームを持った、世界的にも珍しい三重式火山です。市内から七合目ヒュッテまでは車で約60分、七合目から頂上までは徒歩で約50分で登ることができます。

北見市

北見でしかできない体験を共有し絆を強化！

泊数 2泊3日

アクセス

東京から女満別空港まで約90分
女満別空港からバスで約40分

概要

女子チーム「ロコ・ソラーレ」の本拠地でありカーリングの聖地として知られる北見市で、カーリング体験によるチームビルディングで、チームの絆やコミュニケーションUPが図れるプログラムです。



KITAMI

Day1

- 午前 移動
- 午後 オリエンテーション→テレワーク (KITAMI BASE)
- 夕方 チームでカーリング体験

Day2

- 午前 テレワーク
- 午後 地域の方との意見交換
- 夜 焼肉で交流会

Day3

- 午前 テレワーク
- 午後 移動



カーリング体験

カーリング体験を通じ仲間とともに目的達成を共有することで、理想的なチームビルディングを実現します。

KITAMI BASE

2022年3月オープン。簡易宿泊所も併設した施設。ここを拠点にワークはもちろん、北見焼肉やサイクリングなど、オホーツク地域でのバケーションを満喫！

美幌町

自然への学びと体験を通して、チームビルディング

泊数 2泊3日

アクセス

東京から女満別空港まで約100分
女満別空港から車で15分

概要

国際基準の森林認証を取得している美幌町の取り組みを学び、植林や農業体験といった体験型コンテンツを通して、「社会貢献」を行いつつ仲間同士の結束を高めるチームビルディングプランを複数ご用意しています。



BIHORO

Day1

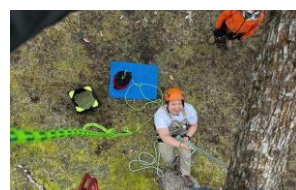
- 午前 移動
- 午後 美幌町の取り組み、農業について学ぶ (WorkingSpace KITEN)

Day2

- 午前 植林・農業体験
- 午後 チームビルディング体験 (WorkingSpace KITEN)
- 夜 焚き火を囲んでBBQ

Day3

- 午前 振り返りミーティング (WorkingSpace KITEN)
- 午後 移動 (テレワークも可)



WorkingSpace KITEN

2023年4月にオープンした WorkingSpace KITENは、コワーキングスペースとしてだけでなく、地域の方のコミュニティカフェや移住相談拠点としても使われる複合型施設です。

企業の森での植林活動

環境保全意識の高い美幌町では「企業の森」として様々な企業が植林活動を行っています。

釧路町

企業の成長につながるテレワークでコミュニケーション向上

泊数 2泊3日

アクセス

東京から釧路空港まで約90分
釧路空港から車で約30分

概要

「企業の成長につながるテレワーク」をコンセプトに、釧路町魅力である「人・自然・食」とのつながりをきっかけに、チームのコミュニケーション向上や新たなアイデア・ビジネス創出のきっかけを提供します。



KUSHIRO TOWN

Day1

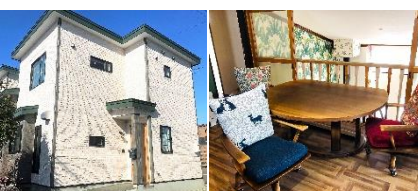
- 午前 移動
- 午後 カヌー体験

Day2

- 午前 町長との面談
- 午後 テレワーク

Day3

- 午前 地元企業等との面談等
- 午後 移動or(テレワークも可)



つながる「人・自然・食」

町長や地元企業、移住推進アドバイザー等との面談や、大自然のカヌー体験、新鮮で美味しい魚介類を体感してください。非日常空間の中で「人・自然・食」とつながるワーケーション体験の共有を通じ、チームのコミュニケーション向上につながります。

1棟貸切！セキュリティも万全！

釧路町のにぎわう商業地域からほど近い場所にある宿泊施設「ハグハグぎゅっ宿泊所」を1棟まるごと貸切でお使いいただけます。パスワード付きwi-fi完備でセキュリティも万全で、集中してテレワークに取り組むことができます。

連絡先

▶ お問い合わせ・お申込みは
北海道型ワーケーションワンストップ窓口
☎ 011-204-5089
✉ hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp

▶ 詳しい情報は
北海道型ワーケーションポータルサイト
hokkaido-work-vacation.com



神恵内村

ブルーツーリズムの創出で漁業と観光の共存を考える

泊数 4泊5日

概要

アクセス

東京から新千歳空港まで約90分
新千歳空港から車で約140分

ウニやホタテなど水産業が基幹作業の神恵内村で、海の街ならではの地域資源を活かしたブルーツーリズムの創出による漁業と観光の共存に向けた取組を検討するプランです。



KAMOENAI

神の恵みの「海」を知り尽くす

ウニの陸上養殖事業化やブルーカーボンによる脱炭素社会の実現を目指す漁業者の取組からサステナビリティを体現する観光コンテンツを創造していただきます。

神恵内村のワークスペース

眼下に望む日本海と緑豊かな自然に囲まれた村営施設（写真）のほか、最上階にコワーキングスペースを完備している民宿もあります。



Day1

- 午前 ● 移動
- 午後 ● 漁港・荷捌施設見学

Day2

- 午前 ● テレワーク
- 午後 ● 村の取組説明
(藻場造成、ブルーカーボン 等)

Day3

- 午前 ● テレワーク
- 午後 ● 秘境「西の河原」漁船クルーズ
地域商社(株)キットブルー訪問 (海洋生物多様性保全等の取組)
- 夜 ● 若手漁師等との懇談

Day4

- 午前 ● シーカヤック体験
- 午後 ● 課題解決ワークショップ

Day5

- 午前 ● 報告会

鷹栖町

パレットヒルズを核とした観光誘客について

泊数 1泊2日

概要

アクセス

東京から旭川空港まで約100分
旭川空港から車で約50分

町内にある自然公園「パレットヒルズ」は、観光拠点として、四季を通じて多くの観光客が訪れているが、マチナカへの誘客が課題。様々な観光コンテンツを含め町内を丸ごと体験し、更なる誘客、消費拡大に向けた方策を検討いただくプランです。



TAKASU

パレットヒルズ

町内の観光拠点であるパレットヒルズでは、雄大な自然の中でワークすることができます。

収穫体験

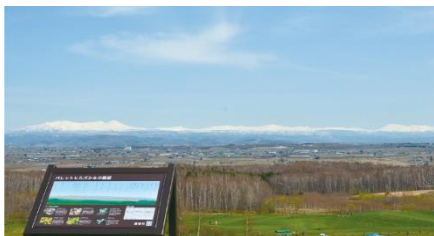
鷹栖町の特産品であるきゅうりやトマトなどの野菜収穫体験ができます。

Day1

- 午前 ● 移動
- 午後 ● 町職員による概要説明＆町内ぐるっとツアー

Day2

- 午前 ● 農家での収穫体験
- 午後 ● パレットヒルズ視察＆管理棟でのワーク
- 地域の方との意見交換
- 移動



安平町

地域滞在型越境学習による社員育成と地域活性化をめざす

泊数 4泊5日

概要

アクセス

東京から新千歳空港まで約90分
新千歳空港からJRで35分

農業体験等の地域の産業や住民との交流を通じ、地域の課題や現状を把握し、新たな事業のアイデア創出につなげるなど、社員育成と地域活性化に資するプランです。



ABIRA

町民との交流会

地域での新しい関係性づくりのため、町内の農家の皆様・自治体/JA職員・地域の方々との交流会を実施します。

農業体験プログラム

町内の農家や酪農家の方々にご協力いただき、収穫・出荷作業や、牧場での餌やりなどが体験できます。

Day1	
午前	移動
午後	地域の方との交流会
Day2	
午前	町内視察
午後	農業体験（例 酪農、軽種場牧場、メロン農家 等）
Day3	
終日	テレワーク
Day4	
午前	農業体験
午後	ワークショップ 交流会
Day5	
午前	農業体験
午後	ワークショップ 移動



鶴居村

人口2,500人の小さな村のデジタル推進を考える

泊数 3泊4日

概要

アクセス

東京から釧路空港まで約90分
釧路空港から車で約40分

国の特別天然記念物「タンチョウ」が住む村として有名な鶴居村。人口2,500人の小さな村で、様々な分野でのデジタル活用の推進の検討と村民の意識醸成を図るためのプランです。



TSURUI

廃校利活用施設の視察

廃校となった小学校の体育館を改装したブルワリーで、地域や自然、人々との「結び目」となることを目指しています。施設の視察も可能です。

鶴居村のワークスペース

村中心部にある「むらづくり会社」では、テレワーク用にモニターやWi-Fi、電源も完備しており、快適に仕事ができます。

Day1	
午前	移動
午後	テレワーク
Day2	
午前	テレワーク
午後	村内小中学校or村民に対する講演
Day3	
午前	村職員による村内ガイド&デジタル化に向けた意見交換
午後	テレワーク
Day4	
午前	村内視察
午後	移動



連絡先

▶ お問い合わせ・お申込みは
北海道型ワーケーションワンストップ窓口
☎ 011-204-5089
✉ hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp

▶ 詳しい情報は
北海道型ワーケーションポータルサイト
hokkaido-work-vacation.com



まだまだあります！こんな地域課題！

様々な課題を抱える地域が多いのも北海道の特徴の一つ。気になる課題がありましたら、**ワーケーションを活用**して、地域に入り、課題解決に向け一緒に考えてみませんか？

<観光・ワーケーション>

地域資源を活かした滞在型観光プランの開発について

芦別市

- ・星や雲海などの自然、温泉、日本遺産「炭鉄港」など地域資源が点在
- ・それらを有機的につなげ地域内を周遊させることが課題
- ・多様化するニーズに応じた効果的な周遊ルートプランについて意見交換を行いながらプランニングしたい



<観光・ワーケーション>

アポイ岳ジオパークを活かした観光について

様似町

- ・町のシンボルであるアポイ岳を含め町全体が「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」に認定
- ・ジオツアーやPR活動を行っているが、観光客数は伸び悩んでいる
- ・効果的なターゲティングやPR手法等について、検討・提案いただきたい



<観光・ワーケーション>

着地型観光への転換について

北斗市

- ・地域の特産品であるトマト農家での収穫体験などを含めた着地型観光の取組を進めている
- ・担い手となる農家等の育成、興味を惹くコンテンツの造成が課題
- ・実際に体験してもらい課題抽出やアイデアの提案をいただきたい



<観光・ワーケーション>

観光地である大沼地区の地域活性化について

七飯町

- ・ラムサール条約登録湿地である町内の大沼国定公園は、有数の観光地
- ・町の観光拠点になっているが、通過型の観光客が多い
- ・地域の観光資源を活用した滞在型プログラムを作成したい

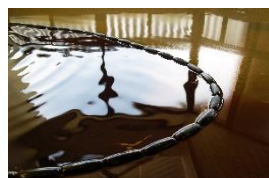


<観光・ワーケーション>

ワーケーションを活用した観光振興について

豊富町

- ・豊富温泉やサロベツ湿原といった自然環境のコンテンツが豊富
- ・観光シーズンだけでなく、閑散期の誘客を図ることで町全体の誘客の底上げを図りたい
- ・豊富な自然環境を活かしたワーケーションプランを作成したい



<まちづくり>

空き家対策について

栗山町

- ・空き家が増加傾向にあるが、移住者獲得に向け空き家を有効活用したい
- ・移住者のニーズ把握、ターゲティングが課題
- ・企業目線で率直な意見等をいただきたい



<まちづくり>

豊浦町

地域資源を活用したまちづくりについて

- ・噴火湾のホタテをはじめとする海産物や森林等、豊かな地域資源に恵まれた町
- ・ホタテ貝殻や木材など未利用資源が多くその活用方法が課題
- ・未利用資源の有効利用の手法のほか、デジタル技術活用も含め提案いただきたい



<まちづくり>

浦河町

移住者住居の確保について

- ・移住希望者はいるものの、斡旋できる空き住宅が非常に少なく移住に至らないケースが多い
- ・空き家や古い町営住宅なども多く、その活用手法も課題
- ・資源の有効利用の手法等について企業目線で意見をいただきたい



<まちづくり>

乙部町

冬期間における移住体験住宅の活用方法について

- ・全面バリアフリー設計の移住体験住宅を2棟用意し、お試し移住を推進
- ・夏季の利用は多いものの、冬季利用はほとんどない状況
- ・企業研修での活用の可能性も含め、冬季利用増に向けた手法について一緒に検討いただきたい



<まちづくり>

陸別町

空き家・空き店舗の有効な利用方法について

- ・急速な人口減少、高齢化の進展により空き家が増加
- ・空き家バンクに登録しているが、修繕が必要な物件も多いことから、利用者の増につながらない
- ・空き家の有効活用方法等について、意見をいただき解決の糸口を見つけない



<環境・ゼロカーボン>

松前町

脱炭素社会における新たな価値を持った産業の創造について

- ・日本有数の風力発電の適地であり、発電から売電、配電までを行う地域エネルギー会社の設立による、町内全域への再エネ電気供給に向けた取組を進めている
- ・このクリーンで安価な電気を活用し、これからの脱炭素社会において新たな価値を持った農業や水産業の創造を民間企業と検討したい



<環境・ゼロカーボン>

礼文町

礼文町におけるカーボンニュートラルについて

- ・利尻富士町、利尻町とともに、R5にゼロカーボンシティ宣言
- ・コンブ生産が盛んであり、ブルーカーボンの活用を想定しているが、具体的な取組が定まっていない
- ・企業のノウハウを活かし、連携しながら取り組みを進めていきたい



<環境・ゼロカーボン>

中札内村

日高山脈国立公園化を活用した関係人口創出と安全登山の啓蒙について

- ・国立公園化を控えている日高山脈の登山口を有している
- ・国立公園化により、地域のPRは図られるものの登山ビギナーにはハードルが高く、公園内に入るエリアが限られるなど安全登山と利活用が課題となっている
- ・環境にも配慮しつつ、安全安心に利活用が図られる方法を検討したい



<自治体・地域DX>

津別町

DXの推進について

- ・担い手不足や人手不足が深刻であり、例えば、スマート農業や高齢者が使いやすいデジタルツールの導入などデジタル技術の活用が急務
- ・役場内部でもペーパーレス化などをはじめDXを推進していく必要がある
- ・民間のノウハウを活用しながら、DX推進に向け検討していきたい



<自治体・地域DX>

浦幌町

庁内におけるDXの推進体制について

- ・窓口業務をはじめ、ペーパーレス化が進んでいない状況
- ・自治体内部の業務効率化のためオンライン化などを進めるとともに、町民への普及も含め、自治体のDX化に取り組んでいきたい
- ・デジタル技術の活用が望ましい業務の検討も含め、専門的な知識を有する方のご意見をいただきながら検討していきたい



<自治体・地域DX>

新得町

自治体におけるDX技術の活用について

- ・デジタル技術を自治体の行政にどのように取り入れていくかが課題
- ・「高齢者や子どもの安心安全」「危険の予測等の防災面」「町民等への的確で効率的な情報配信」など、住民生活に直結する場面での活用や、窓口業務の簡素化や業務の効率化など、庁舎内のデジタル化も含め民間のノウハウを活用しながら、検討していきたい



<その他>

士別市

若者を中心とした地域への移住定住促進について

- ・進学等を機に都市部へ転出後、地元へ戻るケースが極めて少なく地域おこし協力隊員を除けば、若者の移住者はほとんどいない状況
- ・個人事業主やフリーランスを対象とした交流の場の整備や、若者向け移住プログラム提供など、UIターン促進に繋がる取組が必要
- ・現役協力隊員の運用サポートも含め、一緒に検討いただきたい



<その他>

浜中町

地域公共交通について

- ・釧路バス等の路線バス撤退に伴い、町営バス(路線+デマンド)、タクシー(1社)が運行
- ・運転手も高齢化しており、近い将来、運転手不足になると想定
- ・自動運転の導入等を含め、公共交通維持に向け有効な取組を一緒に検討いただきたい



<その他>

利尻富士町

基幹産業の働き手不足について

- ・利尻昆布に代表される水産業、観光業が基幹産業
- ・若年層の島外流出やコロナの影響により、コンブ干しなどの陸作業の働き手不足や宿泊施設のスタッフ不足は深刻な状況
- ・IT技術の活用も含め効果的な労働力の確保手法に向け検討したい



まずは下記までご連絡ください!

▶ お問い合わせ・お申込みは

北海道型ワーケーション
ワンストップ窓口

☎ 011-204-5089

✉ hokkaido.iju@pref.hokkaido.lg.jp

▶ 詳しい情報は

北海道型ワーケーション
ポータルサイト

hokkaido-work-vacation.com

